

～やっばいなあ大関～

とほむの大関

2023年9月号
Vol.30

大関まちづくり協議会・大関コミュニティセンター



もくじ

- 令和5年度 大関まちづくり協議会
総会・全体会・実行委員会・事業計画 (2)
- カフェコーナー利用者の笑顔 (3)
まちづくり研修会で取り組み発表
応援横断幕
第18回坂井市花壇コンクール
わくわくニュースポーツ体験 告知
- 大関居場所づくり～みんないっしょに～(子ども食堂) (4)
未来につながる大関音頭へリニューアル
- 子どもとつくる環境を守る条例策定 (5)
さかい未来創造座談会
- 大関子ども農園 (6)
大関えがお朝市
大関保育園との交流
坂井中学校1年生校外学習
- 元気アップ体操 (7)
シーグラスを探しに行こう
講演会「認知症の正しい理解、認知症の方への対処方法」
チョークで絵を描こう
ペタンクであそぼう!
- ガンバ大関 (8)
大関小学校150周年記念事業 告知
編集後記



大関音頭
レコーディング



◆令和5年度 大関まちづくり協議会・総会・全体会・実行委員会

第16回大関まちづくり協議会総会が4月27日(木)に開催されました。まず令和4年度の事業報告・収支決算報告の承認を受けた後、令和5年度の事業計画・収支予算も承認され、新年度のスタートを切ることができました。

今年度の事業も、昨年度以上に大関小の子ども達や地域の人々、団体の方々と一緒になって取り組む事業ばかりです。どうぞ宜しくお願いします。

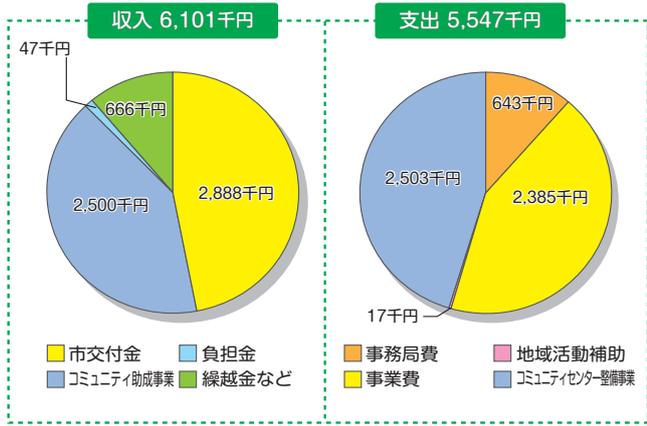


●令和5年度 大関まちづくり協議会・大関地区区長会 事業計画

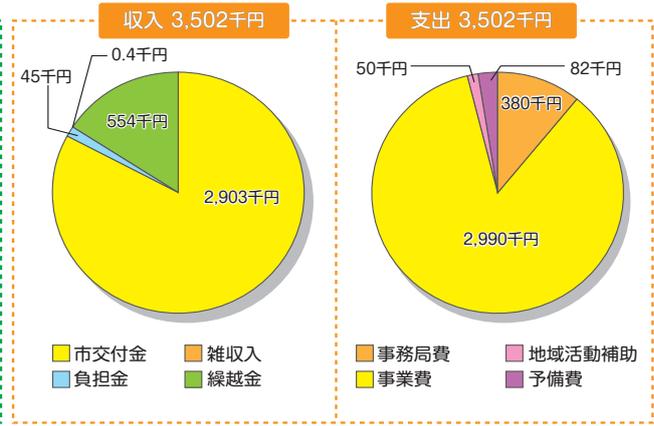
実施月	事業名	備考(会場等)	
4月～10月	未来へつながる大関音頭へリニューアル		
4月～11月	大関子ども農園	大関小学校	
5月～6月	大関小学校通学路チェック	大関地区内	
7月、11月	大関えがお朝市	大関コミュニティセンター	
8月	皆で大関音頭を踊ろう	坂井グラウンド	
8月20日(日)	避難所開設運営訓練	大関小学校	
9月	大関地区敬老事業	お祝い品配布	
	広報活動事業「どすこい大関」vol.30発行	全戸配布	
11月	3日(金・祝)	クリーンアップ作戦「ゴミ探検」	大関コミュニティセンター
	12日(日)	わくわくニュースポーツ体験事業	大関小学校、大関コミュニティセンター (子どもから大人まで楽しめるニュースポーツを体験)
	未定	光のカーテン事業(イルミネーション設置作業)	大関コミュニティセンター、えち鉄大関駅
令和6年			
1月	大関地区区長会		
	大関地区関係団体活動報告書配布	冊子の配布	
2月	光のカーテン事業(イルミネーション撤去作業)	イルミネーション撤去作業	
	広報活動事業「どすこい大関」vol.31発行	全戸配布	
未定	大関コミュニティセンター やよい祭	活動発表会など	
随時	子どもと作る環境を守る条例策定		
	居場所づくり～みんないっしょに～(子ども食堂)		
通年	応援横断幕作成事業、住民ふれあい事業(カフェコーナーの運営)など		

大関地区のまちづくり活性化のため、皆様方のご支援・ご協力をお願い致します。

令和4年度 決算



令和5年度 予算



※千円未満四捨五入の為、必ずしも合計金額とは一致しません。

◆カフェコーナー利用者の笑顔

住民手作りのカフェコーナーが毎日賑わっています。

サークル活動後のおしゃべりやお友達との待ち合わせ、仕事の打ち合わせなど利用の仕方はいろいろ。ハルメクやウララ、週刊少年ジャンプなどの雑誌もあります。お友達を誘っておしゃれな空間をお楽しみください。



◆まちづくり研修会で取り組み発表

5月28日(日)に高椋コミュニティセンターの4階古城ホールにて『まちづくり研修会』が実施されました。東洋大学教授 沼尾氏による「豊かな暮らしの創造に向けた地域づくりの展開」の講演で、全国の「まちづくり」の現状等を学びました。

また、私たち大関まちづくり協議会は、昨年実施した「子どもがつくる住みやすいまち withDX」をテーマに実践発表をしました。多くの方に少しでも参考になってくれれば良いと思います。



◆応援横断幕

大関地区区長会と大関まちづくり協議会では、地域で活躍し、さらに成長する「大関の星」を地区住民の方々に広く知ってもらい応援いただけるよう大関コミュニティセンターに横断幕を掲示しています。



◆第18回坂井市花壇コンクール

✧ ——— … 入賞おめでとうございます … ——— ✧



大味下区 若菜会

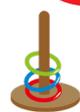


大味中 サルビア会

わくわくニュースポーツ体験開催決定

11/12^日

会場 大関小学校、大関コミュニティセンター
 種目 ・ワンバウンドフラバールバレー ・ドッチビー ・ポッチャ
 ・輪投げ ・ディスクゴルフ ・スポーツチャンバラ



◆大関居場所づくり～みんないっしょに～ (子ども食堂)

8月5日(土)に開催された子ども食堂を体験してきました。この日はボランティアスタッフが15名と大関小学校の児童が5名参加していました。8月のメニューは『カレーと野菜サラダ』で、大関子ども農園からの朝採れトマトも使われました。80食分を想定して作りますが、3つの大鍋で作るカレーは圧巻です!!子どもたちに料理の仕方を教えているスタッフの姿も見られました。



時間になるとたくさんの方が来られました。ホールで美味しそうに食べている人、遊んでいる子どもたち、カレーを配っている方々、たくさん笑顔を見ることができて、会場全体が温かく感じました。

子ども食堂の参加者からは「カレーが美味しい!」「食事が終わった後もみんなで遊べるといいなあ」「一緒に料理を作られるのがうれしい」などの声がありました。



また、ボランティアの方からは「子どもの笑顔が見られるし、話しやすい雰囲気が良い」「居場所づくりをしています、私たちの居場所にもなっていて感謝です。」などの声がありました。

10月から3カ月は『むすびえ』とコラボして面白い企画があるみたいですよ!「これからも色々なメニューや、地域の子もたちや親世代、高齢の方など幅広い住民に参加していただけるように頑張ります」とのこと。楽しみです。

◆未来につながる大関音頭へリニューアル



歌詞づくり

大関地区に戦前まで伝わっていた大関音頭が大関小学校創立150周年記念事業に合わせ、カセットテープの音源をデジタル化し、さらに歌詞も大関小学校児童から「大関のいいところワード」を集めリニューアルし、後世に残していこうということになりました。児童から集まった「いいところワード」を基に、親しみのある「大関山」や「笑顔」、「電車」などの言葉を入れて大関地区の有識者の方々が1～3番の歌詞を作成しました。1番は大関の子どもたちの様子、2番は大関の情景、3番は大関の未来が表現され、大関らしさが伝わる歌詞となっています。

レコーディング

7月11日(火)に大関小学校の多目的ホールで、学年毎に大関音頭のレコーディングをしました。12日(水)には全児童と地域住民と一緒に歌い、「こんな経験はめったできない」「歌手になったみたい」とみんなが喜んでいました。



大関音頭を踊ろう

大関コミセン職員と地域住民が5月9日(火)と11日(木)に大関小学校へ、9月1日(金)には大関保育園へ出向いて大関音頭を教えました。大関小学校では、学校リーダーとなった5年生が縦割り班で全児童に教え、5月27日(土)の大関小学校運動会で全児童による踊りが披露されました。10月22日(日)の大関小学校創立150周年記念事業では児童、園児、そして地域住民による大関音頭の輪が広がることでしょう。

◆子どもとつくる環境を守る条例策定



大関コミュニティセンターは、令和2年から始まったクリーンアップ作戦「ゴミ探検」に全面的に協力してきました。毎年、子どもたちと調査をしていく中でわかったことは、環境を守るためにはゴミを拾うだけでなく住民が自ら守っていくルールも必要だということです。

そこで、大関小学校と協力して、全児童が話し合いながら環境を守るためのルール作りの取り組みを開始しました。

まず、6月8日(木)と9日(金)に学年ごとに環境に関する出前授業を行いました。授業で

は、プラスチックごみが生態系に及ぼす影響や内陸で発生したごみがどのように海に流れ着くのかなどを学びました。翌6月10日(土)には、実際に九頭竜川河口へ希望者が探検に出かけ、どのようなゴミが流れついているのかを調査したのです。

結果は、想像以上の汚れでたくさんのゴミが流れついていました。内陸からのものと思われるゴミが多く、生態系に及ぼす影響の大きさを肌で感じる事ができた調査でした。

子どもたちは、出前授業と現地調査の後、全学年でこども会議を開催しました。こども会議では「世の中になぜごみが多いのか」「大関が日本一環境を守る街になるためにできることは何？」などを話し合いました。

子どもたちから出た意見やアイデアをしっかりとまとめて、条例案の策定に生かしていきます。



◆さかい未来創造座談会

6月14日(水)に、大関コミュニティセンターにおいて、さかい未来創造座談会が開催されました。この座談会には、大関キッズクリーン隊の5人が参加し、これまで取り組んできた「ゴミ探検」の報告をした後、池田市長に対して「プラスチックごみが多いことについてどのように考えていますか？また、対策を考えていますか？」「私たちの取り組んでいることにどのような支援ができますか？」など鋭い質問をしながら回答を求めていきました。池田市長からは「皆さんの活動を紹介しながら、少しでもプラゴミの削減につなげていきたい」「大関小学校児童の取り組みは坂井市内のみならず県内、日本をリードする取り組みです」との励ましをいただきました。

座談会の最後に記念撮影をしながら皆で今後の活動を誓い合いました。



◆大関子ども農園



7月23日(日)7時30分…自分たちが手掛けた野菜を収穫しに5年生の3人は”子ども農園”に出発しました。

「沢山実がなって嬉しい!」、世話は大変な事もあったけど楽しかった!と5年生17名の思いを背負い、ナスやトマト、オクラ、セロリ、大葉等々をカゴ一杯収穫していました。

その笑顔を育んだ地域の農家の方々や先生も嬉しそうです。

「子ども達に収穫の喜びを知ってもらいたい」と4月からは丁寧な土作り、5月には畝作り、作付け、～7月は防虫・防鳥、除草等と汗を流しました。

今年は大雨や猛暑もあり、生育に不安もありましたが、無事に収穫出来た子ども達の笑顔が何よりの報酬になった様です。

今日以降も、まだまだ収穫は続きます。”子ども農園”を介した地域の絆は、更なる強化が期待されます。もうすぐ開催…さぁ!笑顔朝市が始まりますよ。

◆大関えがお朝市



7月23日(日)、地域の農家の方と大関小5年生が真心込めて育てた新鮮な野菜を地域の皆さんに販売しました。

児童は自分達で野菜の値段を決めたり、袋詰めをすることで、計算力や判断力、そして地域の方とのコミュニケーション力を身につける事が出来たようです。

老人クラブの方も参加いただき、スムージーやたこ焼きを提供してくださいました。地域の方もたくさん来られ、用意した野菜は完売しました。

この経験を通して、子供達は野菜作りの大変さと楽しさ、そして自分の努力が形になる喜びを肌で感じとる事ができました。子供達の成長と地域への貢献を感じた1日でした。地域の農家の皆様、朝早くからありがとうございました。



◆大関保育園との交流

大関コミセン職員が6月26日(月)、園児と地域の交流を目的に大関保育園へ出向きペンギン組の皆さんと風船で遊びました。



園児たちは、細長い風船がどんなものに変身するのか目を輝かせながら「なにができるかな〜♪」と大きな声で歌い、「これはな〜んだ」と質問すると、「わかった!犬!」と元気に答えてくれました。園児たちは風船のうさぎと剣が気に入ってくれたようです。最後にみんなで「ねずみロケット」を飛ばして楽しみました。

◆坂井中学校1年生校外学習

5月2日(火)、坂井中学校1年生28名が来館し、コミュニティセンターが地域と一緒に取り組んだ「カフェコーナー建設」や「壁画制作」の様子をセンター長から学びました。完成したカフェコーナーでは、実際に座ってみて楽しい雰囲気味わっていました。



大関コミュニティセンター講座



元気アップ体操

健康寿命を延ばそうといわれて久しいですが、毎日を、健康で、元気に過ごせるように月2回行っているのが、この「元気アップ体操」です。受講生は、「体操をするたびにますます元気になってくるようです。健康寿命が延びていくようで、毎回楽しみにしています。」と笑顔いっぱい感想を語っていました。

シーグラスを探しに行こう

6月25日(日)鷹巣海水浴場でシーグラス拾いを行いました。約50人が参加し、炎天下のなか、皆、宝物を探すように夢中になって海岸を歩きまわりました。参加者からは「あった！きれい」「もっと探そう」と楽しそうな声も聞こえました。貝殻もたくさん集まりシーグラスアート作品が出来上がるのが楽しみです。



講演会「認知症の正しい理解、認知症の方への対処方法」

7月8日(土)春江病院の脳神経外科部長 土田哲氏をお招きし、認知症についての講演会を大関ふくしの会と坂井地域包括センター協力の下開催しました。現在、高齢化社会が進み認知症は誰でも起こりうることで避けてはとおれないとのこと。少しでも自分や家族が困らないようにする努力を今のうちから考えることはとても大切です。講演では、事前に受講者から受けていた質問にもわかりやすく答えて頂きました。講演後は、坂井地域包括支援センター職員による個別相談会も開かれました。

参加者からは「できることから少しずつでも実践したい」「認知症の方への接し方がわかった」などの声が聞かれました。

大関子ども教室



チョークで絵を描こう

5月25日(木)外カフェコーナー「にじいろ」の地面にチョークで絵を描きました。最初はみんなで流行りのキャラクターを描きましたが、自然と自分たちの得意な絵を描くようになり、黒いアスファルトの地面が色とりどりの鮮やかなアートな世界に変わりました。

来館者の方々も自由に遊べる環境と児童たちの作品にとっても感動していました。

ペタンクであそぼう！

7月26日(水)大関地区体育協会の糸魚川薫さん(西区)の指導の下、ペタンク競技を行いました。ペタンクは、ビュットとよばれる的に目掛けてボールを投げ合い、対戦チームよりに近づければ勝ちというゲームです。低学年と高学年に分かれ、赤チーム、青チームで対戦しました。始めのうちはうまくいかないと言っていた子たちもコツをつかむにつれ、競技が盛り上がっていききました。



ガンバ大関!!

大関まちづくり協議会では、大関在住者や出身者の方々が
地区内外で頑張っている姿を紹介します！



今回のガンバ大関は、坂井市結婚応援日本一!アイデアコンテストで優秀賞と福井県立大学でつぐみ賞を受賞された五十嵐愛海さん(東区)を紹介します。



Q. 坂井市結婚応援日本一!アイデアコンテストに応募した動機は。

A. 3月に就活が終わり、これから何をしようかと考えていた時に、福井新聞で坂井市の結婚応援コンテストを見つけて応募してみようと思いました。



Q. 「電車に乗って婚活」とてもユニークなアイデアですが、どのように生まれたのですか。

A. 私は、車の運転より電車でゆったりとした時間を過ごすのが好きなので、えち鉄を貸し切りにするアイデアを思いつきました。



Q. 優秀賞を獲得した感想は。

A. うれしかったです。みんなのプレゼンを聞く中で、大人の方は根拠やデータに基づいて説明していて、私にはまだそういう力が足りないと感じたので活動しながら伸ばしていきたいと思いました。

Q. 200件以上の応募がありましたが、優秀賞を獲った前と後で自分の気持ちは変わりましたか。

A. あまり人前でしゃべることが得意ではなかったけれど、プレゼンをして賞をいただいたことで自信がついて、大勢の前でも緊張せずに話せるようになったかなと思います。

Q. 今度その企画が実行されるんですね。

A. 9月24日(日)に「えちてつコン」を開催します。

Q. 地元の人や婚活に参加してくれる方たちにメッセージはありますか。

A. 地元の人にはさらに坂井市を好きになってほしいですし、市外の方は、できれば坂井市に興味を持って来て移住してくれると一番いいかなと思います。

Q. 他にも大関地区の中で、大関コミセンの運営協議会の委員や大関小学校創立150周年記念事業の実行委員の活動もされているんですね。

A. 大関コミセン運営協議会の委員は、センター長に声をかけていただき委員になって3年目です。祖父母が大関地区の朝市に参加したり、大関小学校での読み聞かせボランティアをしているので地域活動は身近に感じていました。

元々企画をすることやアイデアを出すのが好きなので楽しいです。大関小学校創立150周年記念事業の式典や祭でも楽しい企画を用意していますので、たくさんの人に来ていただきたいです。

Q. 地域活動は楽しいですか。

A. 高校生の頃は、大人の方など幅広い世代と関わることが無かったので、とても楽しく良い経験になっています。特に大学生になって地域活動に参加するようになってからは、坂井町がもっと好きになり、ここにずっと住んでいたいと思うようになりました。

Q. このような地域活動が認められて、大学から表彰を受けられたんですね。

A. はい。福井県立大学のつぐみ賞を受賞しました。地域での活動が認められてとても嬉しいです。



Q. これからのことをお聞かせください。

A. 私たちの世代でも県外で就職する人が多いので、地元の良さをもっと伝えていって大関地区に残ってほしいという思いがあります。就職してからも地元へ貢献していく活動を続けていきたいです。



編集後記

どすこい大関も、はや30号の発刊となりました。まず始めに地域の皆様方と共に大関を盛り上げたいという想いを繋げてくれたことに感謝申し上げます。また笑顔が自然と溢れるやっばいいなあ大関と思える様なまちづくりをこれからも皆様といっしょに作っていただけます様に、新しい事業や取組みに参加、ご協力のほどよろしく申し上げます。(K.T)

祝 **坂井市立大関小学校 創立150周年**

記念式典 令和5年10月22日(日)

坂井市立大関小学校創立150周年記念事業実行委員会

大関まち協メールアドレス ozeki-p@mx3.fctv.ne.jp
大関コミセンメールアドレス ohzeki-cc@city.fukui-sakai.lg.jp

LINE 公式アカウント

050wwwps

検索



Instagram

大関コミュニティセンター

検索



どすこい大関

～やっばいいなあ大関～

編集・発行 大関まちづくり協議会 広報委員会 大関コミュニティセンター内 坂井市坂井町東 12-5-1 TEL.077(6)72-1957 FAX.077(6)72-1955